

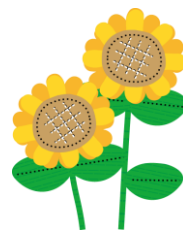


# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA



9月 2016 年度 通巻 337 号 ユース

会 長	栗原成晃	クラブ会長主題	「次世代を担う若者と共に歩む」
副会長	渋谷弘祐	国際会長主題	「Our Future Begins Today. (私たちの未来は、今日より始まる)」
副会長	大澤和子	アジア会長主題	「Respect Y's Movement (ワイズ運動を尊重しよう)」
書 記	東 裕二	東日本区理事主題	「For the Future, Act Today! (明日に向かって、今日動こう)」
会 計	小関京子	関東東部部長主題	「組み合わせられ、結び合わされて、作り上げられてゆく」



## 今月の聖句

「善い行いと施しを忘れないでください。  
このようないけにえこそ、  
神はお喜びになるのです。」  
(ヘブライ人への手紙 13章16節)

## 9月例会プログラム

日時 2016 年9月10日 (土) 18:00

司会 大澤メン

- 1 開会点鐘 栗原会長
- 2 ワイズソング
- 3 ワイズの信条
- 4 聖書・食前の祈り 渋谷メン
- 5 会食 (自己紹介) 会費1000円
- 6 卓話
  - ① 関東東部部長主題 片山部長
  - ② 「夢はうす」について 東メン
- 7 ワイズ報告 栗原会長
- 8 YMCA報告 太田昌孝
- 9 誕生・結婚記念
- 10 にこにこ献金 小関メン
- 11 閉会点鐘 栗原会長

### 3部合同例会

- 出席率 33パーセント
- 8月例会出席 総勢14名  
所沢3名 (在籍9名)  
ゲスト2名

## キリスト教の思想家 矢内原忠雄 渋谷弘祐

矢内原忠雄は内村鑑三に傾倒し、キリスト教徒となりました。その後、新渡戸稲造の薫陶を受けて、彼が国際連盟事務次長に就任した際、母校の東京帝国大学経済学部へ呼び戻された人物です。戦前、自らの思想的立場から平和主義を唱えたところ、時節批判とされ、大学を辞職しましたが、戦後復職し、東大経済学部長、教養学部長、東大総長を歴任しました。矢内原の専門は植民政策学でしたが、彼の本質について私は植民地における搾取ではなく、経済的発展に伴う富の余剰分の分配による宗主国への還元を提唱したように捉えています。それ故、戦後復職後、彼の講座は植民政策論から国際政策論へと名前を変えたのでしょうか。2009年には彼の業績を記念して「東京大学教養学部創立60周年記念 矢内原忠雄と教養学部」という企画が行われています。そんな彼の膨大な著作から「キリスト教入門」(角川新書 1952年)を紹介します。1章4節、宗教は信じたくても信じられぬといふ人について(原文ママ)で、宗教を受容する人、またその価値観が有用な人を次のように述べています。「自分の道徳的な弱さ、無力さ、悪しさを知って良心の咎めを自覚する人」さらに、より広範な存在として、「すべて人間的弱さを知る人、例えば病気、愛する者と死別する、その他人生の希望が打ち破られてみじめな人間の状態と自己の無力を自覚した人」結論として、「信仰をつくるものは境遇ではなく、人間としての自覚が神に対して謙虚であるか傲慢であるかである。」彼はこの考えに立ち、自己の限界に遭遇する度に謙虚に顧みて新規の可能性を模索し、職業人と信仰者という両輪を全うしました。一つの生き方として興味深いものです。

## 準備例会報告

東 裕二

8月20日(土) 17時30分～19時00分

毛呂教会にて

出席者 栗原 大澤 小関 渋谷 東

- ① ブリテン9月号 内容確認
- ② 事業計画 再検討
- ③ 27年度決算 再確認
- ④ 所沢クラブメンバーリスト作成について
- ⑤ 役員会 例会前の打合せ
- ⑥ 3部合同例会  
小谷総主事を励ます会 川越
- ⑦ 桑原さんを囲む会  
9月18日(日)18:00～東久留米駅下車「美豚」
- ⑧ ユースキャンプについて
- ⑨ その他
  - ・9月3日(土)17:30～会員増強会議
  - ・クッキー 今後例会の時に100円のを30本お願いする
  - ・YMCAの活動について話す(小関、大澤)

## ワイズ報告

栗原 成晃

関東東部20周年記念部会の案内がありました。

お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

主題：20年を考える Past, Today, Future

日時：2016年10月15日(土)13時～19時

場所：茨城県つくば市

- ・つくば国際会議場
- ・ホテルグランド東雲

会費：4,000円(メネット3,000円)

## 8月例会報告

小関 京子

8月26日(金)5時～ 川越センターで久しぶりの3部合同例会が開かれました。開始時間の変更があったりしたので、開始時は7名。吉野川越クラブ会長の点鐘に始まり、ワイズの信条を唱和した後、東日本旗の紹介。

卓話者は、小谷総主事。4カ月の歩み、今後の抱負などを語っていただきました。特に、所沢市では、教育委員会がYMCAの働きを評価し信頼度が高まっているとのことのお話を伺い、嬉しく思いました。

2次会は近く中華料理店。新総主事を囲む会。部分参加も含めて、川越クラブ5名、埼玉クラブ4名、所沢クラブ3名、小谷総主事、太田主事と総勢14名の参加になりました。

所沢クラブは、大澤、東、小関が代表で参加しました。

## YMCA 報告

太田 昌孝

7月29日～8月13日 ダイナミックサマープログラム(シカゴ・オレゴン)

8月10・11日 全国YMCA青少年水泳大会(広島)

8月24～26日 キッズアカデミー夏季保育

8月27日まで 夏季短期プログラム終了

(キャンプ・サマースクール・水泳・体操各講習会)

8月28・29日 職員研修(東山荘)

## 第72回ワイズメンズクラブ国際大会 in 台湾 大澤 和子

世界各国から780名の参加者がありました。

藤井寛敏大会実行委員長からは、今大会のマーク「天地人」について、孟子の『公孫丑章句上』一節の「天時不如地利。地利不如人和」(天の時、地の利に如かず、地の利は人の和に如か

ず)に由来するもので、「天の時、地の利、人の和」の意味で成功する三条件を示すとされています。大会を大いに楽しんでいただきたという挨拶がありました。

国際会長はカナダのMrs.Joan Wilsonに引き継がれました。小学校校長を経て、現在に至っています。

大会のスローガン「Living in Harmony」(調和と共に生きる)を受けて、黄光彩博士が基調講演をされました。科学の進歩によって、120歳まで生きられる時代がすぐそこに来ている。知恵を持って、人間は自然と調和しながら生きていこうと話されました。

私は「Partnership with YMCA」の分科会に参加しました。YMCAの職員だった方が、退職後に恩返しと言ってワイズに入会された話が印象的でした。最期にヘレン・ケラーの“Alone we can do so little; together we can do so much”(ひとりではできることはわずかだが、力を合わせてできることはとても多い。)という言葉でまとめていただき、力をいただきました。

最期に、感謝状をいただきました。台湾地震の時に些少ながらドネーションをさせていただいたためです。賞状は、ワイズコーナーに飾っておきたいと思います。ご覧ください。

所沢クラブからは、私ひとりで心細い思いでしたが、川越クラブのみなさんと同室の八王子クラブの小口さんに、親切にしてください楽しい大会参加になりました。特に、利根川理事と広島谷本さんには丁寧に通訳をしていただき、大会が10倍楽しめました。



### 今後の行事予定

9/10(土)18:00 例会 部長訪問

9/18(日)18:00 「元総主事桑原さんを囲む会」

場所 東久留米駅前「美豚(ビトン)」10/8(土)

18:00 例会

10/15(土)13:00 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

関東東部20周年記念部会

場所 茨城県つくば市

10/23(日)17:30 準備例会